

会 議 録

会議名	第4回 橋本市新庁舎整備検討委員会	
日時	令和8年3月19日（木）午後2時00分～午後4時00分	
出席者	委員	濱田委員、川角委員、中西委員、西井委員、大西委員、岸田委員【出席委員：6名】
	事務局	総合政策部 井上部長 政策企画課 辻本課長、城野課長補佐、大萩主査 (策定支援業者：(株)ニュージェック)
公開状況	公開	
傍聴者	0名	
次第	<p>1. 開会</p> <p>2. 協議事項</p> <p>(1) 第3回整備検討委員会の主な意見と反映</p> <p>(2) パブリックコメント及び新庁舎建設特別委員会委員の意見聴取結果について</p> <p>(3) 基本構想（案）について</p> <p>(4) 基本計画策定における検討事項</p> <p>3. その他</p> <p>    次回の議事（予定）と開催時期</p> <p>4. 閉会</p>	
資料	<p>資料1 第3回整備検討委員会における主な意見と反映・対応</p> <p>資料2-1 パブリックコメント・新庁舎建設特別委員会委員の意見聴取の実施結果</p> <p>資料2-2 パブリックコメント・新庁舎建設特別委員会委員の意見と市の考え方</p> <p>資料3-1 橋本市新庁舎整備基本構想（案）</p> <p>資料3-2 橋本市新庁舎整備基本構想（案）【概要版】</p> <p>資料4-1 基本計画骨子案・委員会議題</p> <p>資料4-2 基本計画策定スケジュール</p> <p>資料4-3 基本計画策定における検討事項・整理イメージ</p>	
会議録記名	委員長：濱田 學昭 記名委員：中西 達彦、大西 順司	

## 1. 開会

- ・事務局より開会の挨拶、資料の確認。
- ・6名の委員出席により会議成立の報告。
- ・本日の議事について公開することが決定し、傍聴者なし。
- ・会議録記名委員について、中西委員と大西委員が委員長から指名される。

## 2. 議事

### (1) 第3回整備検討委員会の主な意見と反映

(事務局から資料1に基づき説明)

#### 【主な意見】

- ・理念そのものは良いと思うが、具体的に庁舎として何をしていくのかを、基本計画時点で検討していく必要がある。特に基本理念の「出会いとつながりの場」については、今の庁舎にはない機能であるため、重点的に機能を検討していく必要がある。
- ・現庁舎敷地で建替えをする場合、土地を取得するための費用は必要ない旨を外部に発信していく必要がある。
- ・基本理念の「人にやさしい」という表現が分かりにくい。少なくとも市民と共感できるようなイメージを今後つくっていく必要がある。

### (2) パブリックコメント及び新庁舎建設特別委員会委員の意見聴取結果について

(事務局から資料2-1、2-2に基づき説明)

#### 【主な意見】

- ・パブリックコメントを拝見したところ、現庁舎敷地での建替えを支持する意見が多い。それから、機能としてはワンストップ化を求めている人が多い印象でした。パブリックコメントのような、市民の皆さんに広く意見を聴取する機会をもう一度つくるということは、方法として良い。また、そのパブリックコメントで頂いた意見を重視して、意識しながら、今後検討を進めていく必要がある。

### (3) 基本構想(案)について

(事務局から資料3-1、3-2に基づき説明)

#### 【主な意見】

- ・基本構想(案)概要版の2ページ目の基本理念の記載位置について、もっと前に持

ってきても良いのではないか。かつらぎ町は基本構想本文の表紙1ページ目に基本理念を記載している。

- 新庁舎は将来の橋本市を担っていく象徴的な存在になることから、その意味でもキヤッチフレーズが必要である。
- 有名建築家に多額の設計費を払い、設計を依頼したものの、建設予算をオーバーしてしまったため、新庁舎の建設を中止し、設計費が無駄になるという事例を耳にした。市民として誇れる庁舎を建てるために、有名建築家に高額な設計費を支払い、お金が流れしまうことを懸念している。建物自体に多くの費用をかけるくらいであれば、中身の機能を充実してほしい。
- DX推進について謳われていると思うが、ガバメントクラウドとの連携についての言及が見られないので、どうされるのか非常に気になっている。デジタル庁では今年3月末の完成が示されていることを踏まえ、DXへの対応を進めていくことが必要である。
- 事業手法について、PFI、DB、DBO方式いずれの場合にもおいても、設計を行わず性能発注となることで、市の意向を十分に反映することが難しくなる可能性がある。また、それぞれの手法のコスト比較ができれば良い。
- 維持管理について、庁舎の場合、掃除やエレベーターの保守点検等限定的な部分しか委託していないのではないか。これらを一括して事業者に委ねる手法が本当に良いのかどうか、考える必要がある。
- PPPにおいて民間企業を誘致する場合、ホテルやショッピングセンターの誘致は難しい。
- 事業手法については、模型等を作成し、市民に意見聴取する機会を設ける等、市民の意向が反映されるような事業手法を選定する必要がある。事業の効率化のみで決めてはいけない。構想段階では、決定まではしなくとも、そのようなことまで検討していく必要がある。
- キヤッチフレーズを検討するにあたっては、図書館等の付加機能に着目するのではなく、庁舎本来の役割や求められる機能を踏まえ、庁舎単体としての在り方を基に検討する必要がある。

#### (4) 基本計画策定における検討事項

(事務局から資料4-1、4-2、4-3に基づき説明)

##### 【主な意見】

- 工事費の算出には、前提として庁舎規模の検討が必要である。庁舎規模の削減を検討するにあたり、人員削減はサービス低下につながるため対応が難しいです。

その一方で、庁舎内では書類保管スペースが大きな割合を占めているという課題がある。書類削減を実現しない限り、庁舎規模の削減・設定は難しいと思う。

- ・デジタル化の推進も図っていく必要がある。庁舎整備とは別に、書類削減の取り組みを進めていかなければ、庁舎規模の削減にはつながらない。
- ・他市町村の事例では、シンボリックな新庁舎を整備したものの、機能面が十分でなかったことから市民から不満の声が上がっていた。橋本市の新庁舎においても、シンボリックな要素を重視しすぎない方が良いと思う。
- ・現庁舎敷地で建替えを行う場合、地域との連携が重要になると思う。大規模商業施設が橋本市の北側に立地する一方で、中心市街地には商店街を中心とした中小規模の店舗が多くなっている。PPPを検討する上で、公共交通機関の衰退や民間施設への影響についても、重要な検討項目だと思う。
- ・この地域は、大和・伊勢・高野街道が交差する場所で、河岸段丘で狭い土地になっている。この地域で活動できる土地を拡大していくためには、衰退している街道を再生・活性化する必要があると思う。
- ・小学校の近くには住宅地がありますが、橋本市のこの地域には小学校がないため、他のエリアに新しい住宅がつけられている状況である。新しい建物が建設されないことから、街全体で建物の老朽化が進み、水害時の倒壊等で国道24号の復旧に時間がかかるということも考えられる。
- ・大阪より橋本の方が土地が安いため、橋本に移り住んだ人もいる。橋本駅前にスーパーマーケット等の商業施設がなくなってから、あの辺りの地域が衰退した印象がある。住んでる人にメリットのある事業を考えていく必要がある。
- ・パブリックコメントの意見にもありましたが、新庁舎の建替えとセットで考えていく方向が良いと思う。また、保健福祉センターも解体する必要はなく、例えば1階に図書館を整備すれば、空き地で本も読めるので良いと思う。
- ・保健福祉センターに関して、トイレが福祉課の一番奥にあるのが不便だと思う。新庁舎整備にあたっては、出入り口付近にトイレがある等、ユニバーサルデザインについてしっかり検討していただきたいと思う。
- ・今議論している具体的な内容については、実施設計段階で検討できると思うが、国の機関や金融機関、コンビニ等の外部機関の導入を検討する場合には、計画段階から条件等を整理しておく必要がある。また、法的規制の整理も行う必要がある。
- ・様々な外部要因が関係してくるため、必要な情報が集まるようスケジュールを作成しておく必要がある。

### 3. その他

- ・次回会議日程について、来年度の7月頃で調整予定。
- ・市民ワークショップについて、区長など地域のリーダーが参加していると思う

が、何のために参加しているのか、事前にワークショップの目的を周知していただきたい。